



# さみどりの旗



第四校区小中一貫教育目標「社会の中で主体的・協働的に生きる力」第四中学校教育目標「社会人基礎力を備えた人」

## 新年度スタート

令和8年度も第四中学校の教育活動へのご支援どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度がスタートしました。本年度も、第四校区小中一貫教育目標「社会の中で主体的・協働的に生きる力」の育成、学校教育目標「社会人基礎力を備えた人」の育成をめざし、教育活動を進めてまいります。学校教育目標に掲げる「社会人基礎力」について、これからの社会を生き抜くために礎となる具体的な力として「言語活用能力」「自ら行動する力」「人と関わる力」を様々な教育活動の中で、生徒の「創造」「感動」「実感」を通して育ててまいります。中学校卒業時には、これらの力を備えた人として義務教育を修了することを目指してまいります。

## 入学式

伝統ある第四中学校に新入生 72 名を迎えました。令和8年度 208 名のスタートです。

4月7日、満開の桜のもと第82回入学式が行われ、72名の新入生を迎えました。令和8年度全校生徒208名での第四中学校スタートです。入学式では新入生代表の生徒さんから誓いの言葉が大変立派に話されました。また、中学校の教科書も手交されました。

学校教育目標である「社会人基礎力を備えた人」となるよう、人権を尊重し、お互いの考えや立場を認める人権尊重を基盤とし、「創造」「感動」「実感」のある学び、人との関わりを大切に参ります。



## 対面式

新入生を歓迎する対面式、生徒会オリエンテーションが行われました。

新入生を歓迎する新入生と3・2年生の対面式が行われました。とても温かい雰囲気の中、中学校生活の様子、生徒会活動のオリエンテーションなどが説明や劇などで伝えられました。記念品が1年生に贈られ、歓迎の言葉、新入生代表の言葉も交わされました。心温まる対面式になりました。



## 【4月5月の主な予定】

4/21(火)	希望面談 (~24(金)) 全国学力学習状況調査(英・質問)	5/11(月)	学校運営協議会
22(水)	心臓病検診	13(水)	表彰集会
23(木)	生徒総会 全国学力学習状況調査(国・数)	21(木)	修学旅行(京都・奈良方面~23(土)) 海浜教室(下田方面 (~22(金)))
27(月)	避難訓練	22(金)	1年生弁当持参 地域学習...1年
28(火)	1年生部活動本入部	25(月)	校外学習...E組 3年生代休
30(木)	全国学力学習状況調査(話す)	26(火)	中央協議会
		27(水)	学年専門委員会



第四校区 小中一貫教育目標  
 社会の中で主体的・協働的に生きる力  
 <第四校区の子供が15歳段階までに伸ばしていく資質・能力>  
 言語活用能力・自ら行動する力・人と関わる力

国・県・市の施策

保護者・地域の願い

- 学校の強み・生徒のよさ
- ・真面目で誠実な生徒
  - ・自治精神に富む生徒会活動
  - ・合唱への高い誇り
  - ・特別支援教育拠点校
  - ・地域の温かな支援

- 教育課題解決に向けて
- ・「キャリア・プランニング能力（なりたい自分になる力）」を高めたい
  - ・「自己肯定感」「自己有用感」を育み、高めたい

Plan  
 第四中学校教育目標  
**社会人基礎力を備えた人**

第四小学校教育目標  
 思いやる心 学び合う力 たくましい体  
 ～ やさしく かしこく たくましく ～

「学び」の深まり  
**教科**1-1-1-(1)-1  
 ・言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力の育成  
 ・問いを発見し主体的に向き合う探究的な学習  
 ・対話を通じて他者の考えを取り込み考えを広げる  
**総合的な探究の時間**1-2-1-(3)  
 ・人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題適応能力、キャリアプランニング能力の育成  
 ・「職業」を柱としたキャリア教育  
 【授業内容がより理解できている 90%】  
 【友達との対話や資料を活用しよい答えを出す 85%】  
 【将来の夢を持っている 100%】

「言語活用能力」と「自ら行動する力」が育つ

「学び」の基盤  
**道徳科** 1-2-4-(1)-1  
 ・多様な価値観が表れる問い  
 ・「ちよびりよい自分」の発見  
 ・「やってみようかな」という思いの醸成  
**学習環境**1-1-3-(1)-1  
 ・UDを意識した授業（視覚化）、ICT活用  
 ・自律した学習者  
 【「互いを思いやる心・違いを認め、許し合う心」について実践できた 90%】  
 【ICTを日常的に活用する授業 90%】

創造・感動・実感

人権尊重の精神

Do

Action

自己理解、自己肯定感、自己有用感、自己指導能力

「生活」の創造  
**特別活動**1-2-4-(1)-1  
 ・生徒会活動、学校行事  
 生徒自身が作り上げる学校祭、生徒会活動（非認知能力の育成）  
 ・学級活動  
 互いの考えを認め合える人間関係づくり  
 【行事や係の仕事などに進んで取り組んでいる 90%】  
 【伝統ある誇り高い四中を継承しようと努めている 80%】

自己実現  
 「自ら行動する力」と「人と関わる力」

「生活」の基盤  
**生徒指導**1-2-3-(1)  
 ・自己決定  
 夢や目標の実現のため、自分で決定し実行する  
 ・自己有用感  
 自分が役に立ち価値ある存在だと実感する  
 ・共感的な人間関係  
 自分の考えを伝えるときともに、互いに尊重し合う  
 【自分が仲間から必要にされているという実感を持っている。80%】  
 【生命を大切にし、男女が互いに尊重し合う生活ができている。90%】

Check

評価「さみどり」（三つの見取り）

見る <気づく> 観る <思いや感情を察する> 診る <総合して解釈し、判断する>

校内研修の充実 学び合い高め合う教師集団  
 研修テーマ 生徒の主体的・協働的な思考を促す問いの設定 1-1-3-(1)

<教師としての矜持と使命感> 学び続ける教師・信頼される教師

小中一貫教育=9年間の積み上げ  
 豊かな人間性の涵養 創造的学力の積み上げ

知識・理解思考（教科）+論理的思考+創造的思考（総合）+道徳教育+体験活動  
 日々の体験を土壌にした基礎力の育成（第四小）→ 知識・経験を足場にした豊かな創造力（第四中）

カリキュラムマネジメント:重点化を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する教育活動の推進  
 目標に対する自己の変容を振り返り、子ども自身が自らの成長を実感できる場の積み重ね

※数字は、「沼津市教育基本構想」の「章-節-項-(目)」